

### 3 中学校統合に向けた住民説明会（中区）

- 日 時 令和4年8月20日（土）午後2時00分～午後3時50分
- 会 場 ベルディーホール会議室
- 参加者 17名（中区14人、加美区1人、八千代区2人）

#### 【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・防災環境担当理事兼建設課長 藤原 照明
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課学校園アドバイザー高見 英明

○司会 藤本理事

○あいさつ 越川教育長

○出席者紹介

○説明 教育総務課 山本  
          学校教育課 吉川

○質疑応答

■ICT支援員はどんな仕事内容なのか？

→現在2名配置し8校を巡回している。学校OBと民間ICT関連経験者。昨年度より1名増員している。

■災害に強い学校として、体育館への空調設備の検討は？

→町内には空調設備のある体育館はない。前向きに検討したい。

■バス通学時の一般客とのトラブル対応は？

→小学校低学年の子どもたちが騒がしく苦情があり指導した。しかし、高校生が小学生に席を譲ったりしてくれている。公共の場で小学生たちは社会性を身につける場となっている。

■部活動を地域に移行する際、指導者はボランティアか？

→今からの協議となるが、ボランティアでは継続性に課題がある。指導者の保障については十分に検討していく。

■学校の建設場所については、浸水想定エリアなので災害が心配。

→盛土を施し80年に一度の災害に備えるほか、避難経路の確保や防災教育によりソフト面も強化する。

- 建設地下流への影響は？調整池は必要ないのか？  
→ 県との調整の中で、緑を残すことで流量を増やさない計画とします。しかし、下流への影響を最小限に抑えるために、万が一に備えて、校庭となる中央公園グラウンドに校庭貯留機能を検討している。
- 部活動の地域移行は多可町にマッチしているのか？都市部の政策をそのまま郡部に採用するのは疑問。多可町に合った部活動のあり方を検討すべき。
- 小中学校の転入転出は把握しているのか？  
→ 把握している。若干ではあるが増えている学校がある。
- 教育環境の変化を理由に転出した家庭はあるのか？  
→ 把握していないが、多可町での環境で子育てしたいと転入されたご家庭はある。
- 統合中学校のプールはどうするのか？  
→ 統合中学校は現在の町民プールを活用する予定。校舎建設による日陰等による水温への影響はない。
- 基本計画（案）に建設地に対する浸水リスクが記載されていないが？  
→ 具体的な対策については、統合中学校建設基本計画に記載する。
- 小中一貫教育については詳しく触れられていないが？  
→ 幼小中高の連携は必要な視点。教育委員会で推進していく。将来的に小学校は中学校の隣に建設することを想定して場所を選定している。
- 多可高校はどうするのか？中高一貫教育は？  
→ 高校生の声を政策に生かすために高校生議会を開催したり、町外からの通学者にも通学支援を行ったり、町を挙げて多可高校を支援している。今後町内1中学校となるため、地元高校との連携も重要と考えている。
- 県外からの移住者ですが、保育園や福祉の支援が手厚いと感じている。
- 年々高価になる小学校のランドセルに替えて、買い替えや修理がしやすいリュックサックに変更してはどうか？  
→ 新しい視点で検討したい。まずは中学校の制服を検討する際にカバンについても検討していく。
- 部活動は昔から生徒指導の一部で、精神面の成長に大きく寄与する。地域移行でそれができるのか。学校で盛り上げていくことが大切では？  
→ 地域へ相談した時にどうなるのか、地域との連携を大切にしていきたい。

### 3 中学校統合に向けた住民説明会（加美区）

- 日 時 令和4年8月19日（金）午後7時30分～午後8時45分
- 会 場 加美プラザ
- 参加者 6名（中区2人、加美区3人、八千代区1人）

#### 【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・防災環境担当理事兼建設課長 藤原 照明
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課学校園アドバイザー 高見 英明

- 司会 藤本理事
- あいさつ 越川教育長
- 出席者紹介
- 説明 教育総務課 山本  
          学校教育課 吉川
- 質疑応答
- 特になし

### 3 中学校統合に向けた住民説明会（八千代区）

- 日 時 令和4年8月20日（土）午後7時00分～午後8時40分
- 会 場 八千代プラザ大ホール
- 参加者 11名（中区2人、加美区2人、八千代区7人）

#### 【事務局】

- ・教育長 越川 昌信
- ・防災環境担当理事兼建設課長 藤原 照明
- ・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
- ・学校教育課長 吉田 勇二
- ・学校教育課副課長 吉川 成悟
- ・教育総務課副課長 山本 聡
- ・教育総務課学校園アドバイザー高見 英明

○司会 藤本理事

○あいさつ 越川教育長

○出席者紹介

○説明 教育総務課 山本  
          学校教育課 吉川

○質疑応答

■2年ぶりに東京から帰ってきた息子が、中学校がなくなることにショックだと言った。説明を聞いて失望している。北欧やEU圏では少人数クラスが主流なのに多可町は逆行しているのはなぜか。1クラス20人、給食の無償化、オーガニック食材を使った給食などで子育て世代を呼び込めないか。子どもの数が減る前に、もっと積極的な施策を打ち出してほしい。

→少子化対策は町を挙げて「子育てするならダントツ多可町」として取り組んでいる。貴重な意見を今後の参考にしたい。

■日本における中学校の1クラスの人数は世界で見ても多い。他国はもっと少ない人数であるが、クラス替えができない理由で学校統合をしようとする国はない。福崎町は16年間ずっと同程度の人口を維持している。一体何が違うのか。交通アクセスや立地条件など違うことはわかるが、町長や教育長の考え方が違うのだろうか。1月の広報たかにコストのことが掲載されていた。コストがかかるから統合するのか。教育とコストは分けて考えるべき。コストの積算根拠を示してほしい。

→地域の学校教育のあり方を考える会の説明会で、保護者の方から建設にか

かるコストや削減できるコストについて教えてほしいとの要望があった。将来、子どもたちに借金を背負わせたくないとの思いからだ。町は、教育はお金ではないと考えている。その点は誤解のないようお願いしたい。

→40年間のコストについて試算している。3中学校の建て替えや長寿命化、大規模改修などのコストを見込んでいる。また維持管理費は5年間の光熱水費や修繕費の平均に40年を乗じて見込んでいる。それぞれの中学校を利用して統合中学校を開校した場合の試算しているため、統合中学校の整備コストには幅があるが、40年間の削減額は11億円から28億円程度だと試算している。

■各課で少子化対策に取り組んでいるのに、その成果を無視して、反映させず、統合するのは急ぎすぎているのではないか。人口減少のシミュレーションはこれでいいのか。

→最新の出生数に基づいて予測している。

■統合の理由が、「クラス替えができるように」としているがその理由だけでは弱いのではないか。

→現在は教科数よりも教員数が少ない状態。クラス数が増えれば教員の配置数も増える。そうすれば免許外指導の解消など子どもたちのよりよい教育環境を確保できる。

■1教科に教員が2人いれば、教員の授業力が上がるとなっているが、それは甘い。どんな状況であっても、自ら研究してスキルアップすべき。複数教員がいても、向上心のない教員はダメだ。

→新任教員の場合は、特にベテラン教員の存在が大きい。

■私はクラス替えを経験したことがない。そんな小学校で育ったが故に中学校に入ってとてもギャップを感じた。先生も少ない、競争もない中で育ったため心の発達も幼かったと今思う。小規模校、クラス替えがないのはやはりつらい。中学生の子どもは、去年は1クラスだったが、今年は2クラスにしてもらった。子どもたちの世界はクローズドな世界。クラス替えがあることは親としても有り難い。

■いろいろな意見がある。小規模校にもメリットやデメリットがある。もっと住民の意見を聞いてほしい。財政面や行政の都合で統廃合を急いでいるのでは。急ぐ必要があるのか。住民の意見を聞く教育委員会であってほしい。

→地域の学校教育のあり方を考える会から数えると30回住民説明会を行ってきた。保護者にも動画による説明やアンケートも実施してきた。中学校の統合に反対がなかったわけではないが、そのことも踏まえた上で、子どもたちの望ましい教育環境の確保が一番だと考え、中学校を統合するという結論に至った。

■子ども園の統廃合はあるのか

→全て民営化しているので運営側の判断になる。こども園との会議では、園児の数は年々減ってきているので、経営が難しく保育士を維持することが難しくなっているという報告を受けている。